

西予市復興まちづくりに関する市民意向調査 調査結果（概要）

西予市役所

平成31年3月

1 調査概要

■ 調査概要

【目的】

- ・「西予市復興まちづくり計画」の策定にあたって、まちづくりに関する市民意向を把握するために実施した。

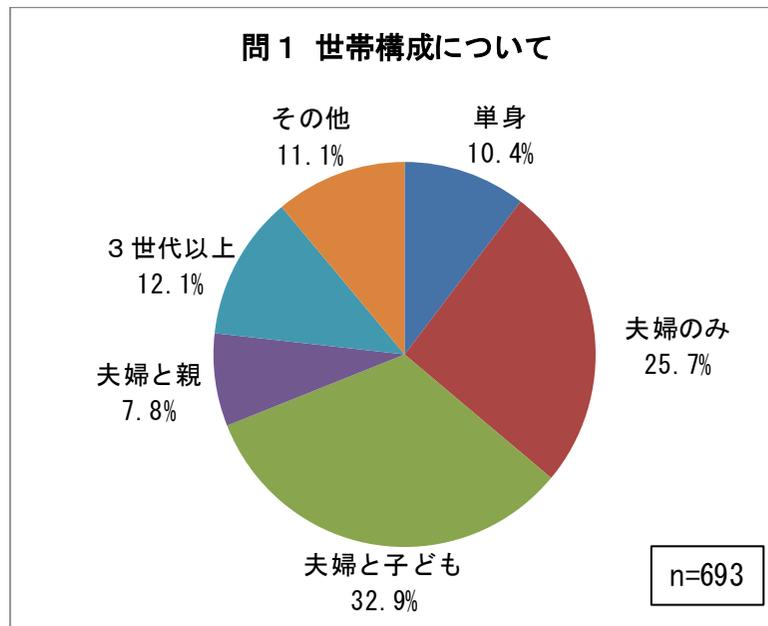
【調査概要】

- ・調査対象：市内全域を対象に、地区別・年齢層に配慮して2,000人を無作為抽出
- ・調査期間：平成31年2月4日（月）～2月18日（月）
- ・回収数：約701票（回収率：35%）

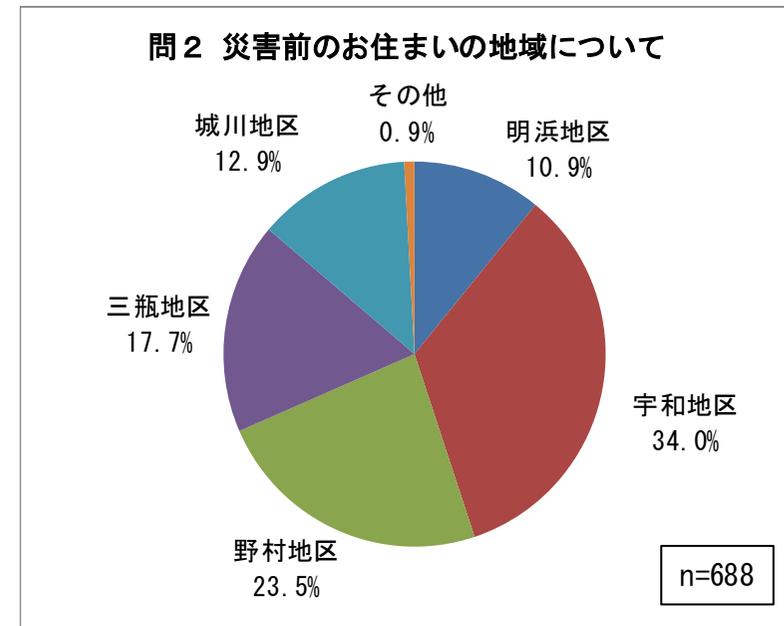
2 調査結果

■あなたの世帯や被災前のお住まい、現在のお住まいについて

問1 世帯構成について教えてください。



問2 災害前のお住まいの地域について教えてください。



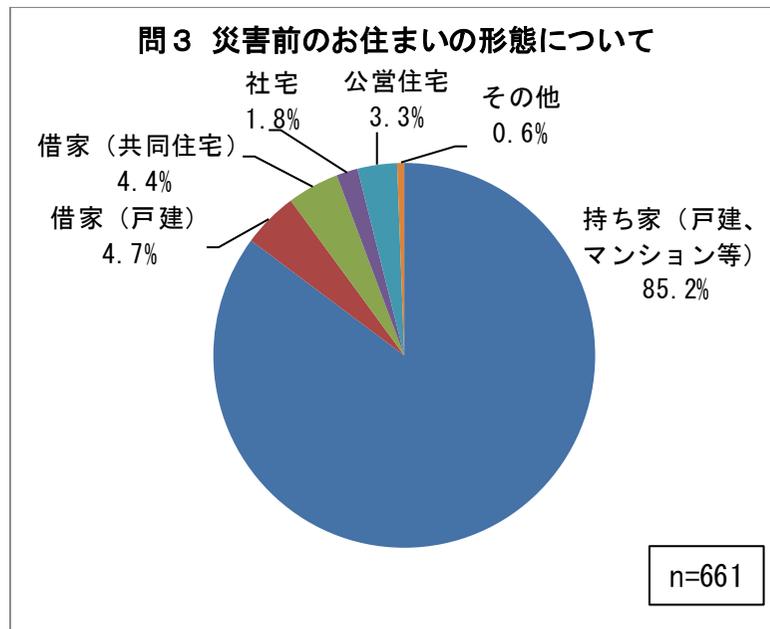
⇒ 「夫婦と子ども」の世帯構成が32.9%と最も多く、次いで「夫婦のみ」の世帯構成が25.7%となっている。

⇒ 「宇和地区」が34.0%と最も多く、次いで「野村地区」が23.5%、「三瓶地区」が17.7%となっている。

2 調査結果

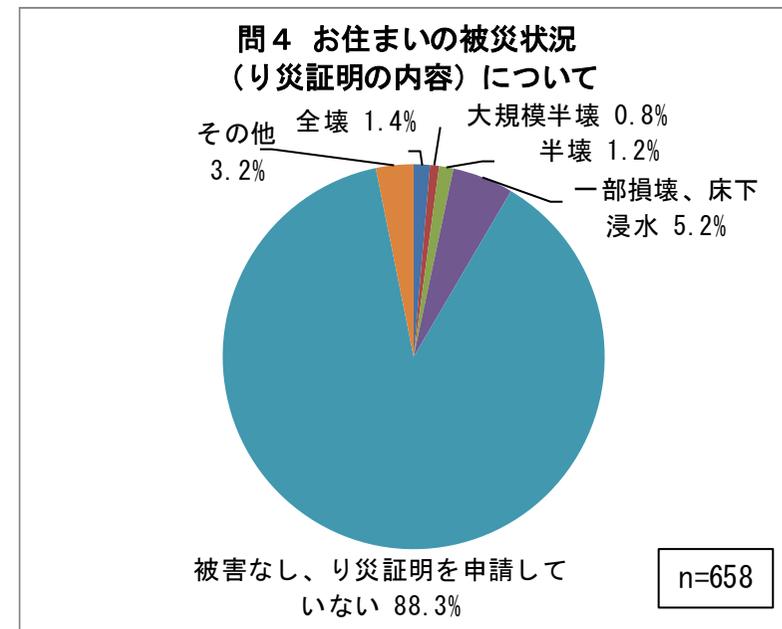
■あなたの世帯や被災前のお住まい、現在のお住まいについて

問3 災害前のお住まいの形態について教えてください。



⇒ 「持ち家(戸建、マンション等)」が85.2%と最も多く、次いで借家(戸建)が4.7%、借家(共同住宅)が4.4%となっている。

問4 お住まいの被災状況(り災証明の内容)について教えてください。

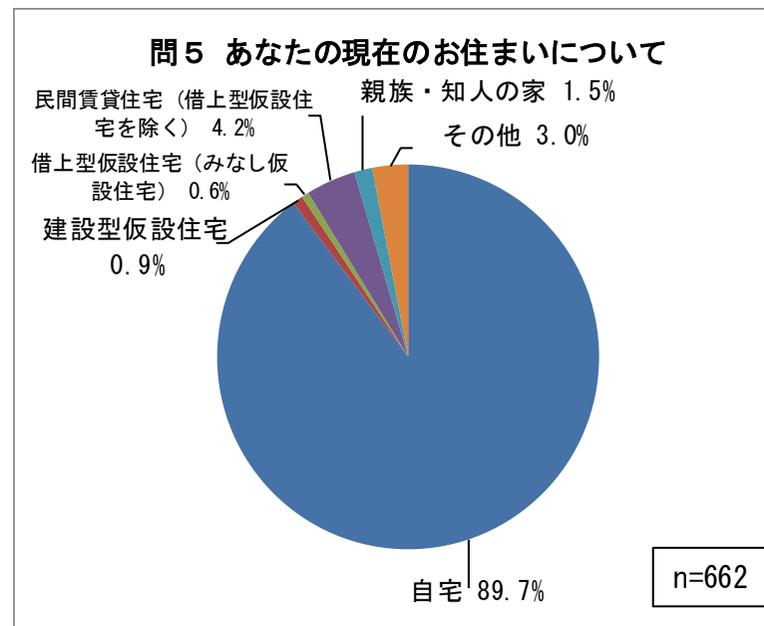


⇒ 「被害なし、り災証明を申請していない」が88.3%と最も多く、次いで「一部損壊、床下浸水」が5.2%となっている。

2 調査結果

■あなたの世帯や被災前のお住まい、現在のお住まいについて

問5 あなたの現在のお住まいについて教えてください。



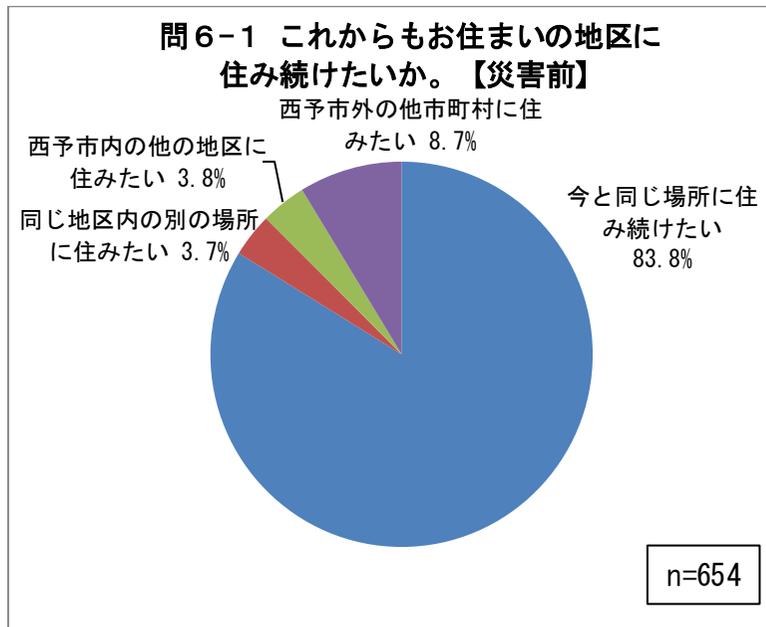
⇒ 「自宅」が89.7%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅（借上型仮設住宅を除く）」が4.2%となっている。

2 調査結果

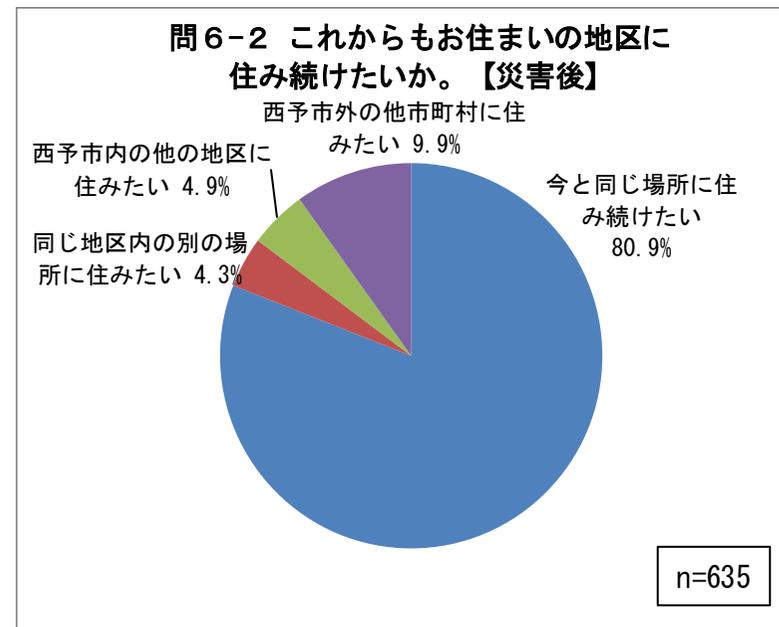
■ あなたの世帯や被災前のお住まい、現在のお住まいについて

問6 あなたはこれからもお住まいの地区に住み続けたいと思いますか。

【災害前】



【災害後】



⇒ 「今と同じ場所に住み続けたい」が83.8%と最も多く、次いで「西予市外の他市町村に住みたい」が8.7%となっている。

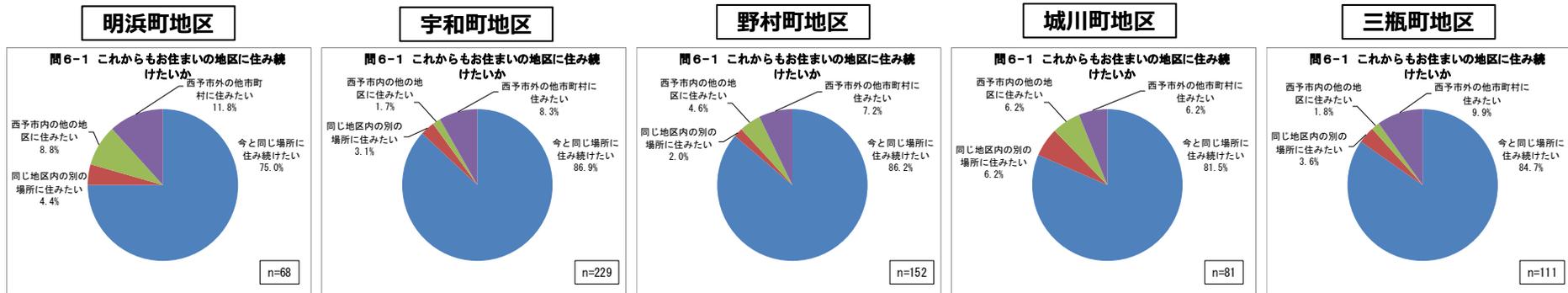
⇒ 「今と同じ場所に住み続けたい」が80.9%と最も多く、次いで「西予市外の他市町村に住みたい」が9.9%となっている。

2 調査結果

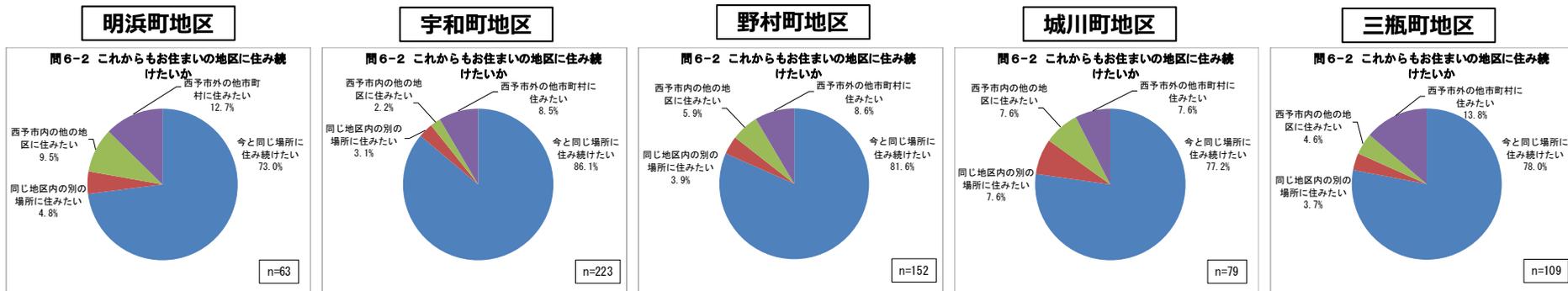
■ あなたの世帯や被災前のお住まい、現在のお住まいについて

問6 あなたはこれからもお住まいの地区に住み続けたいと思いますか。【地区別】

【災害前】



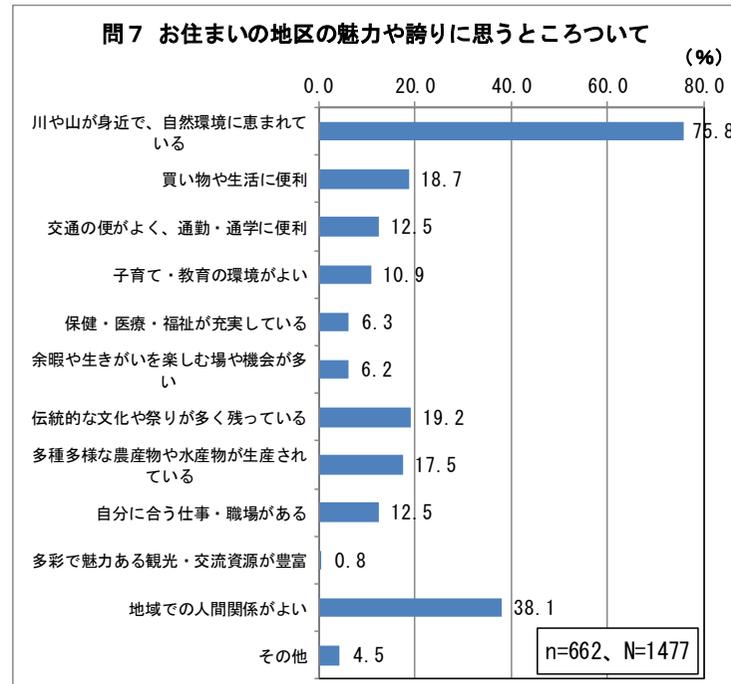
【災害後】



2 調査結果

■西予市の好きなところについて

問7 お住まいの地区の魅力や誇りに思うところについて教えてください。（複数回答）

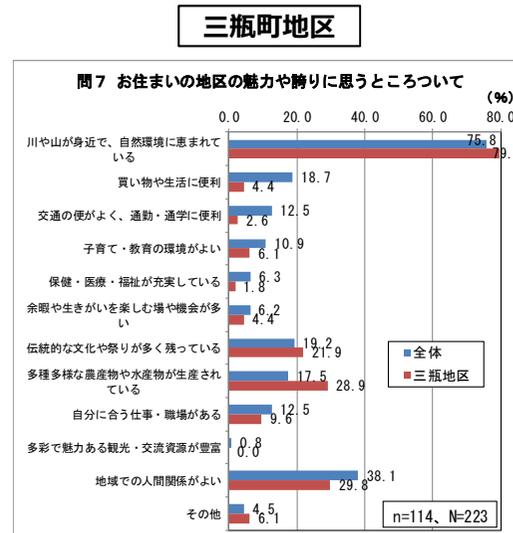
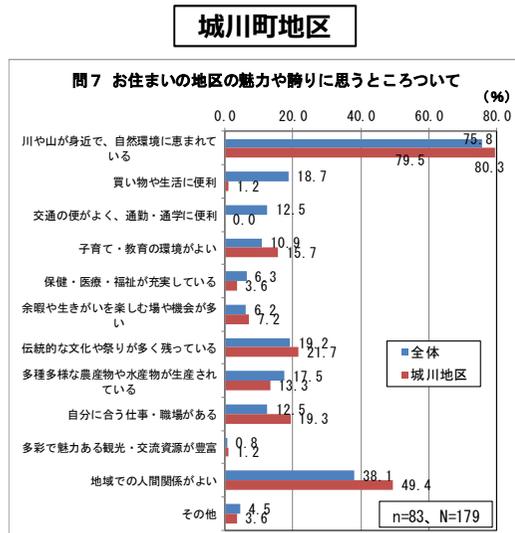
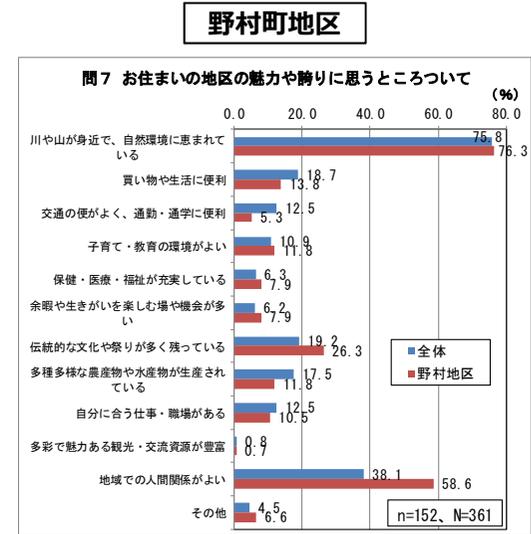
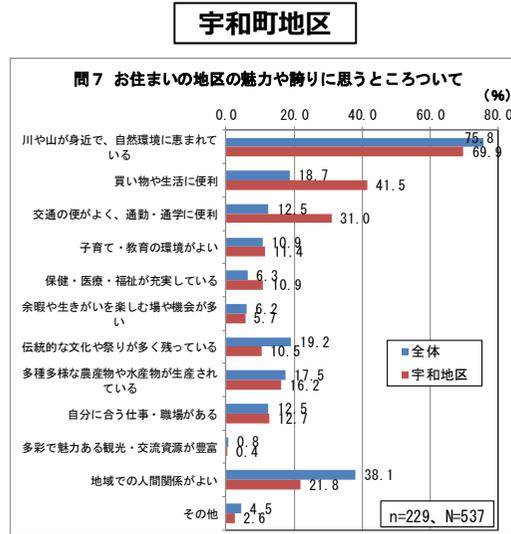
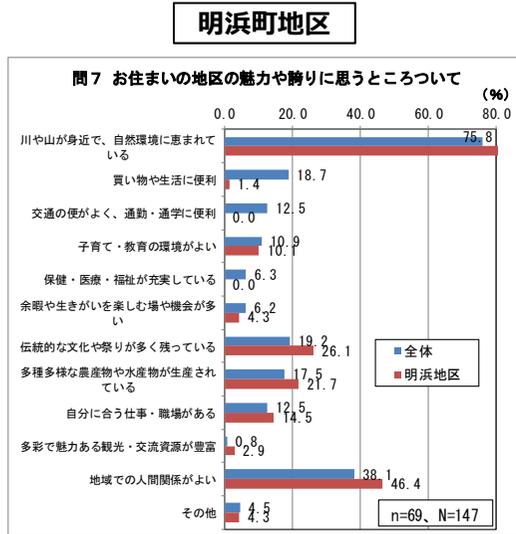


⇒ 「川や山が身近で自然環境に恵まれている」が75.8%と最も多く、次いで「地域での人間関係がよい」が38.1%、「伝統的な文化や祭りが多く残っている」が19.2%となっている。

2 調査結果

■西予市の好きなところについて

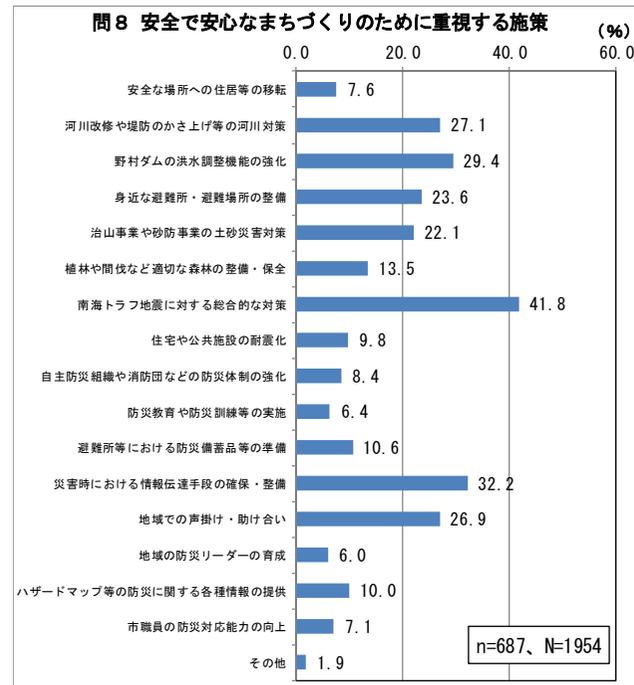
問7 お住まいの地区の魅力や誇りに思うところについて教えてください。【地区別】



2 調査結果

■安全で安心なまちづくりについて

問8 安全で安心なまちづくりのために重視する施策について教えてください。（複数回答）

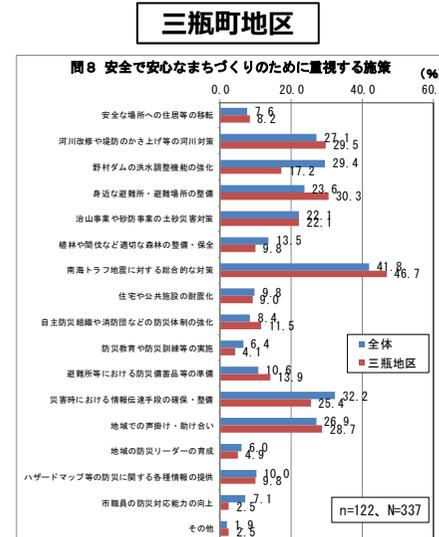
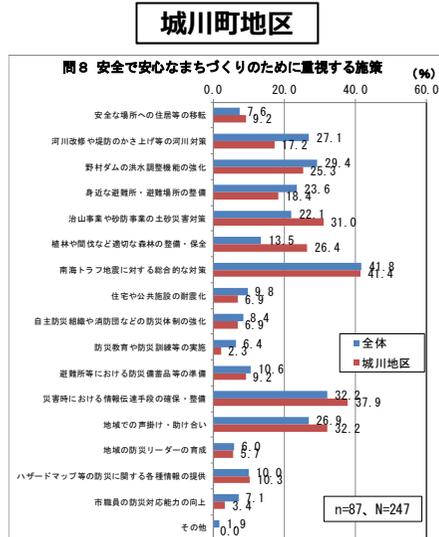
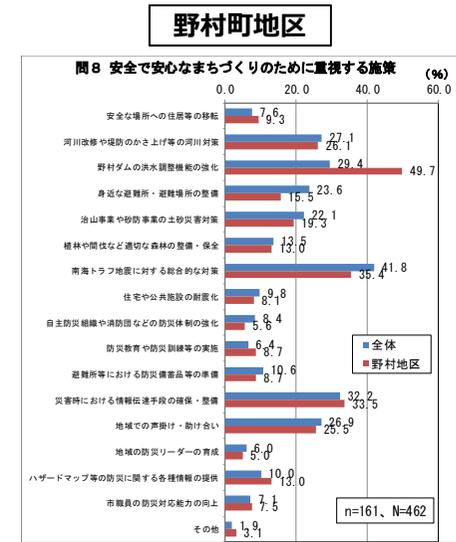
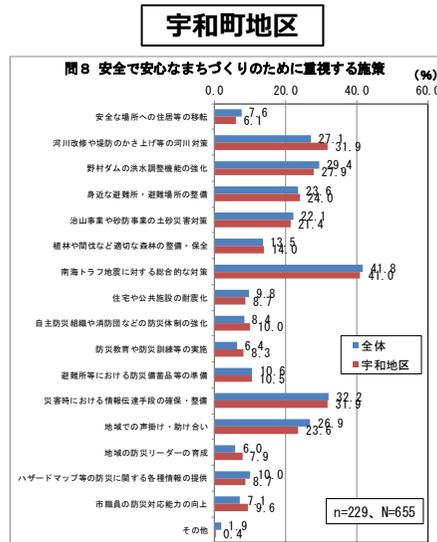
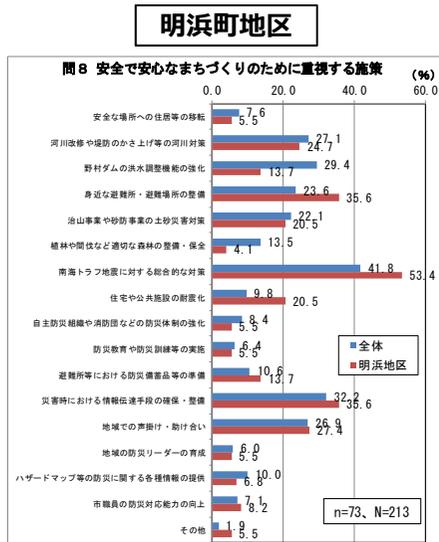


⇒ 「南海トラフ地震に対する総合的な対策」が41.8%と最も多く、次いで「災害時における情報伝達手段の確保・整備」が32.2%、「野村ダムの洪水調整機能の強化」が29.4%となっている。

2 調査結果

■安全で安心なまちづくりについて

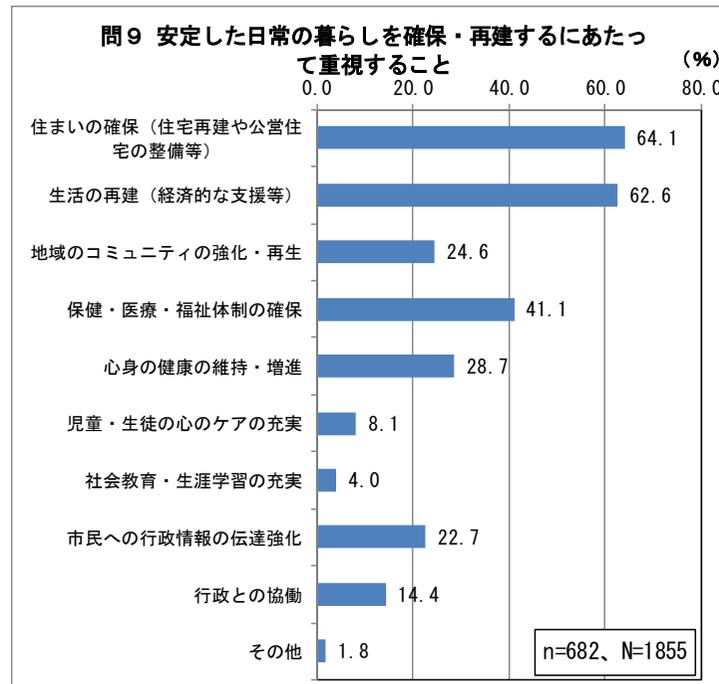
問8 安全で安心なまちづくりのために重視する施策について教えてください。【地区別】



2 調査結果

■ 日常の暮らしについて

問9 安定した日常の暮らしを確保・再建するにあたって重視することについて教えてください。（複数回答）



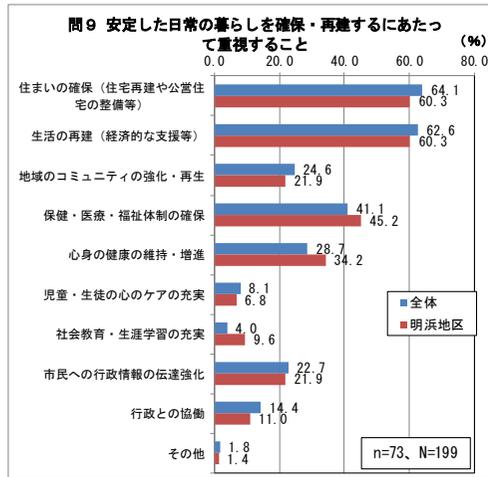
⇒ 「住まいの確保(住宅再建や公営住宅の整備等)」が64.1%と最も多く、次いで「生活の再建(経済的な支援等)」が62.6%、「保健・医療・福祉体制の確保」が41.1%となっている。

2 調査結果

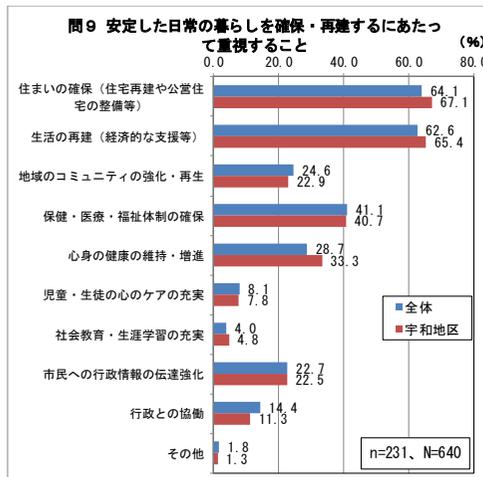
■安全で安心なまちづくりについて

問9 安定した日常の暮らしを確保・再建するにあたって重視することについて教えてください。【地区別】

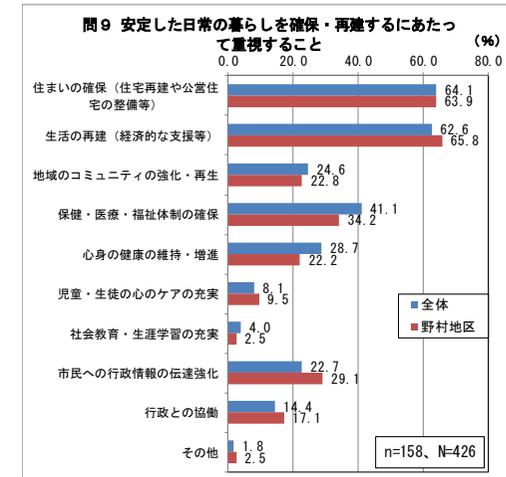
明浜町地区



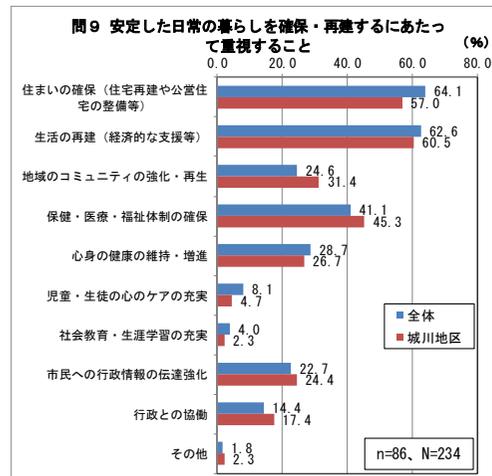
宇和町地区



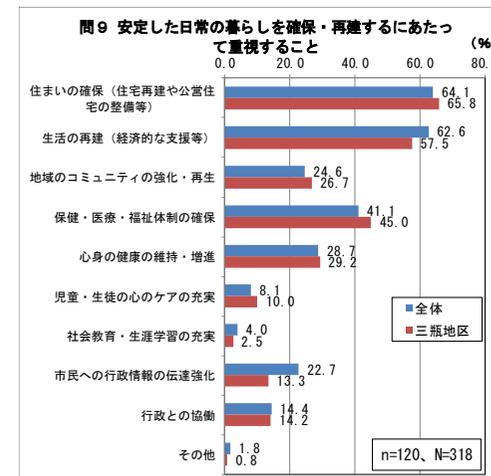
野村町地区



城川町地区



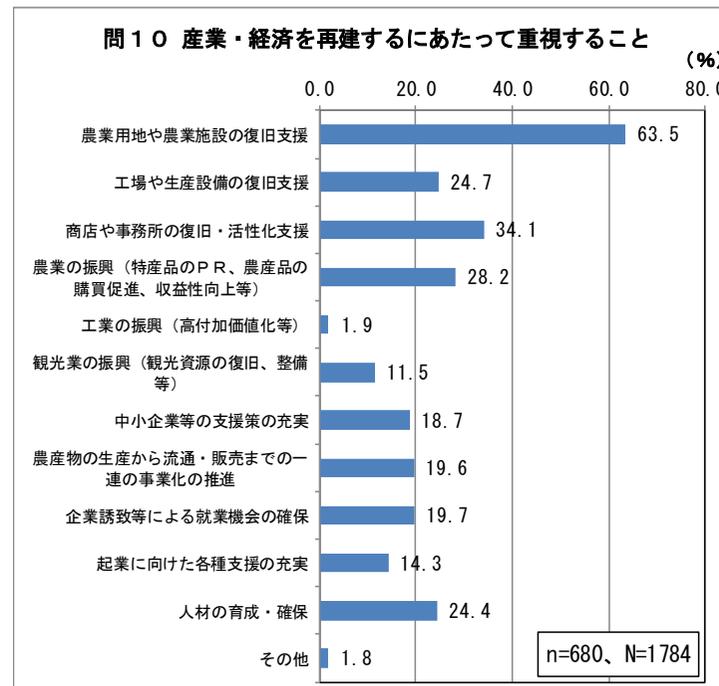
三瓶町地区



2 調査結果

■ 産業・経済における生業について

問10 産業・経済を再建するにあたって重視することについて教えてください。（複数回答）

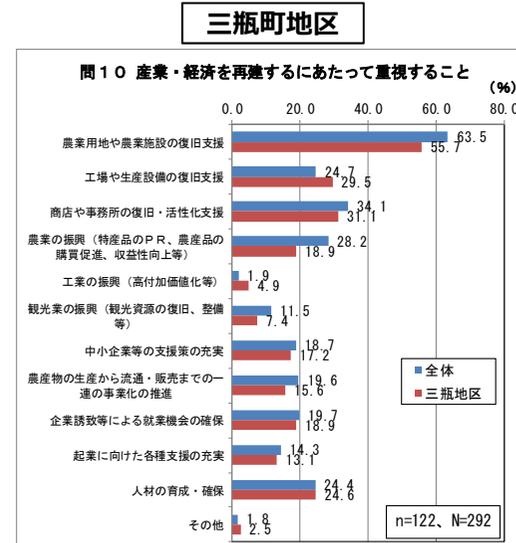
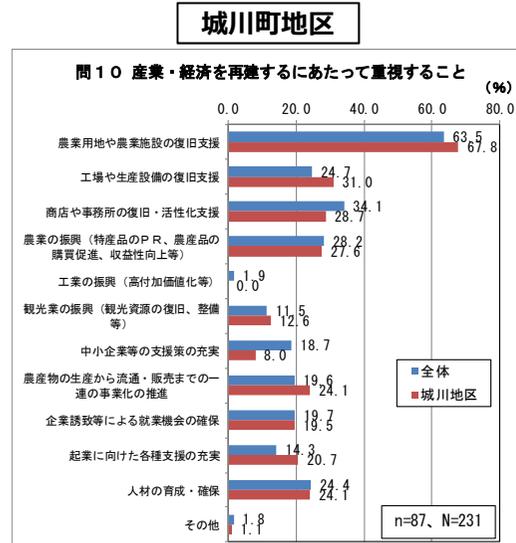
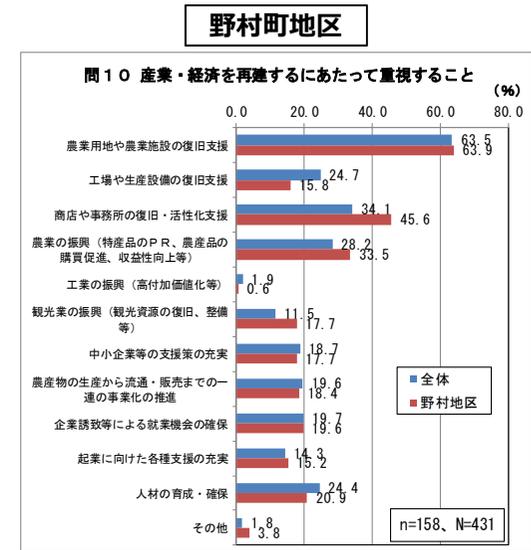
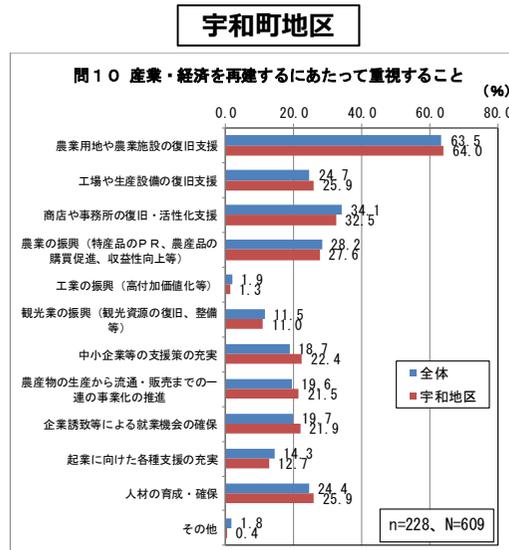
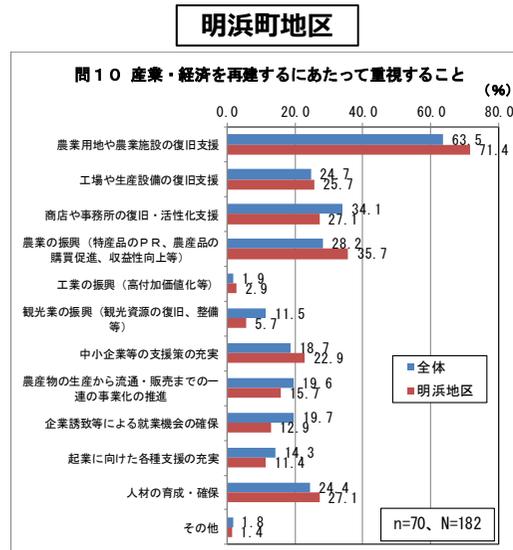


⇒ 「農業用地や農業施設の復旧支援」が63.5%と最も多く、次いで「商店や事務所の復旧・活性化支援」が34.1%、「農業の振興(特産品のPR、農産品の購買促進、収益性向上等)」が28.2%となっている。

2 調査結果

■安全で安心なまちづくりについて

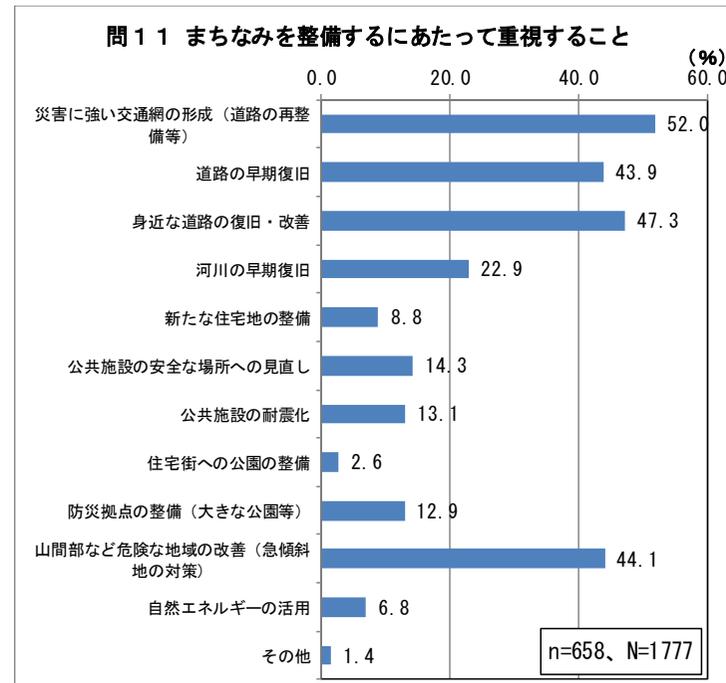
問10 産業・経済を再建するにあたって重視することについて教えてください。【地区別】



2 調査結果

■ インフラ環境、まちなみの整備について

問11 まちなみを整備するにあたって重視することについて教えてください。（複数回答）

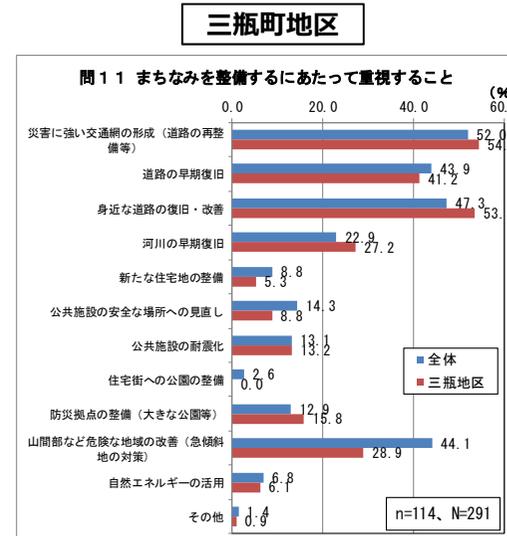
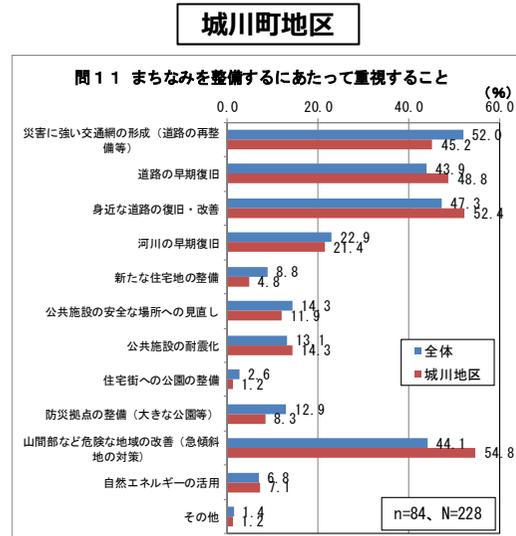
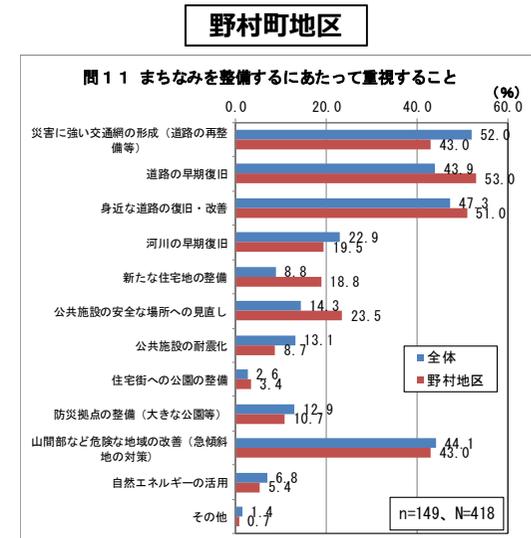
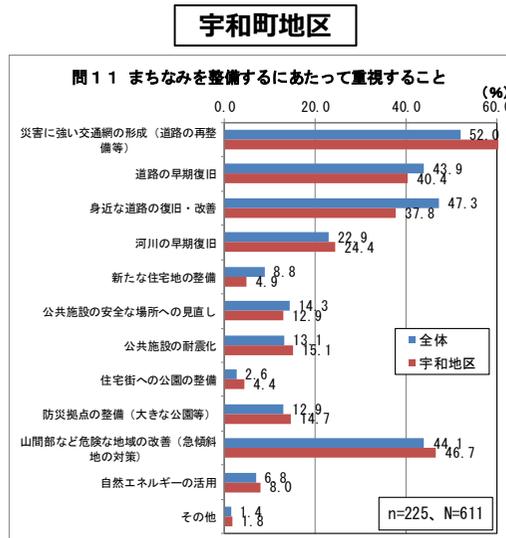
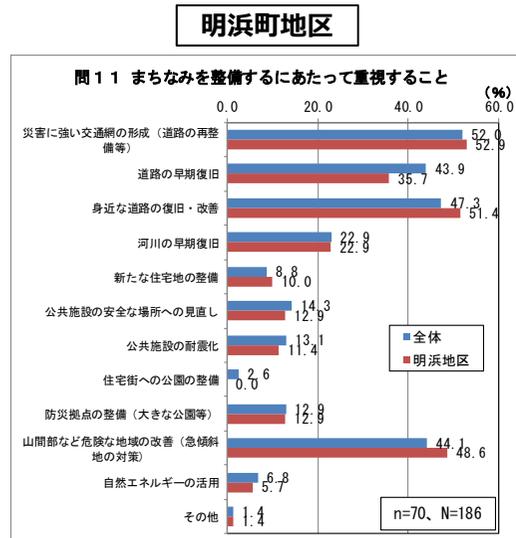


⇒ 「災害に強い交通網の形成(道路の再整備等)」が52.0%と最も多く、次いで「身近な道路の復旧・改善」が47.3%、「山間部など危険な地域の改善（急傾斜地対策）」が44.1%となっている。

2 調査結果

■安全で安心なまちづくりについて

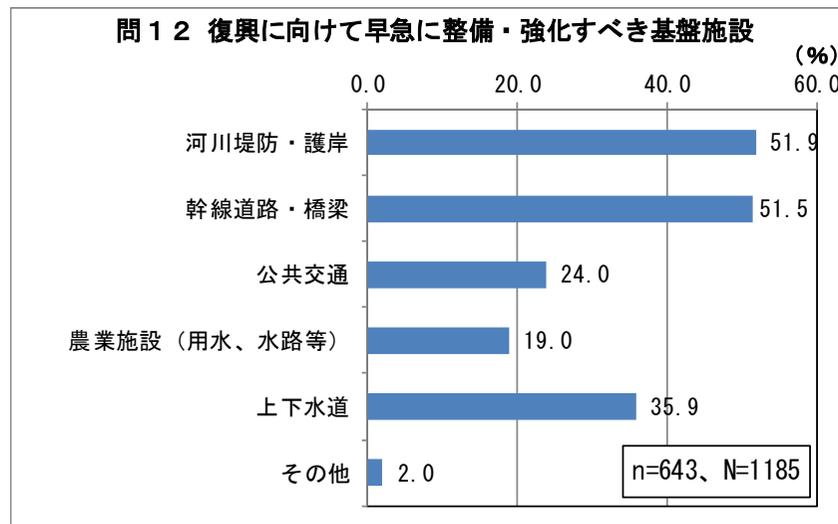
問11 まちなみを整備するにあたって重視することについて教えてください。【地区別】



2 調査結果

■ インフラ環境、まちなみの整備について

問12 復興に向けて早急に整備・強化すべき基盤施設について教えてください。（複数回答）



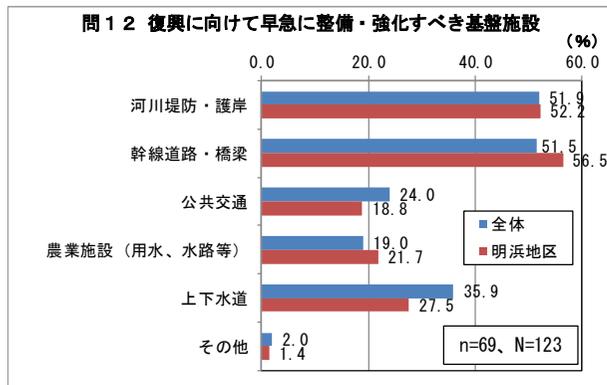
⇒ 「河川堤防・護岸」が51.9%と最も多く、次いで「幹線道路・橋梁」が51.5%となっている。

2 調査結果

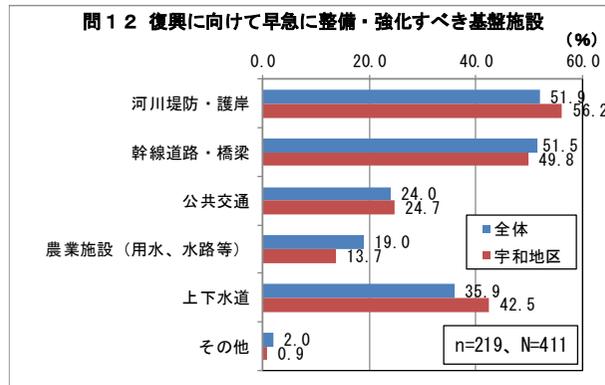
■安全で安心なまちづくりについて

問12 復興に向けて早急に整備・強化すべき基盤施設について教えてください。【地区別】

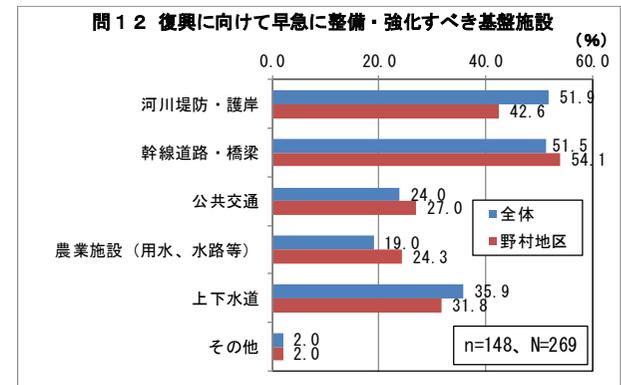
明浜町地区



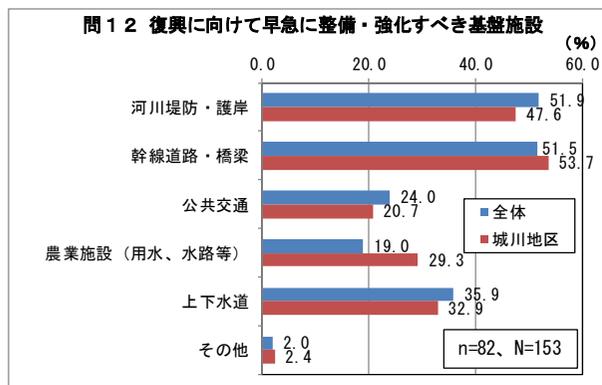
宇和町地区



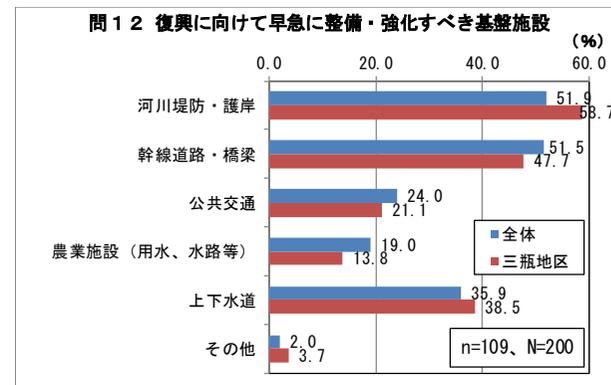
野村町地区



城川町地区



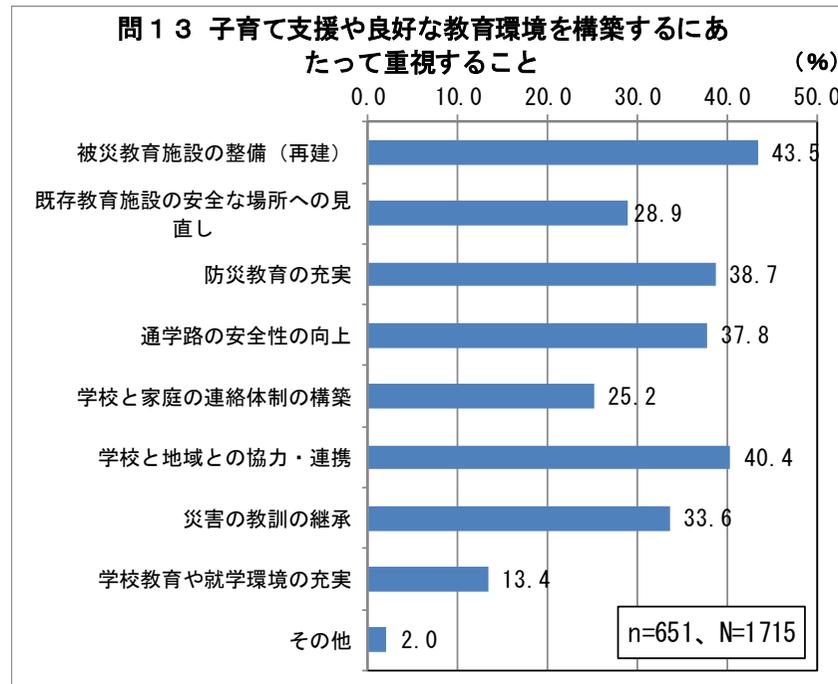
三瓶町地区



2 調査結果

■子育てや教育環境について

問13 子育て支援や良好な教育環境を構築するにあたって重視することについて教えてください。（複数回答）



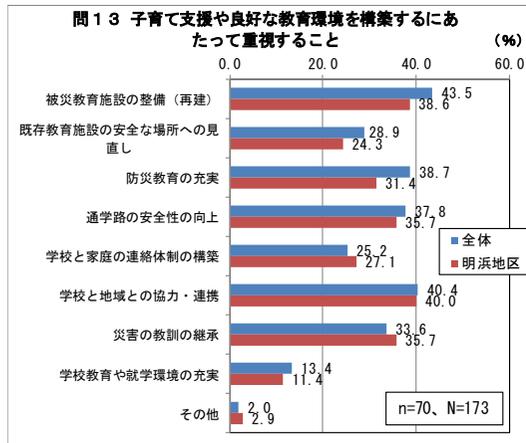
⇒ 「被災教育施設の整備(再建)」が43.5%と最も多く、次いで「学校と地域との協力・連携」が40.4%、「防災教育の充実」が38.7%となっている。

2 調査結果

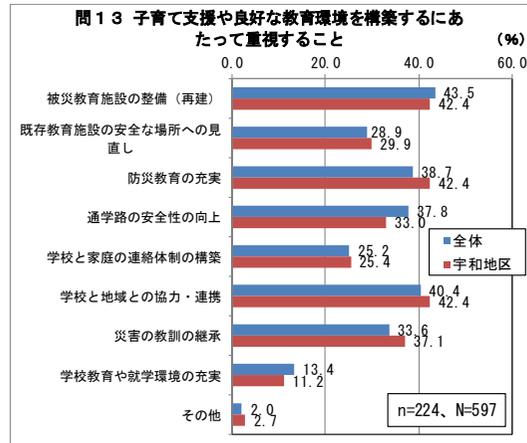
■子育てや教育環境について

問13 子育て支援や良好な教育環境を構築するにあたって重視することについて教えてください。【地区別】

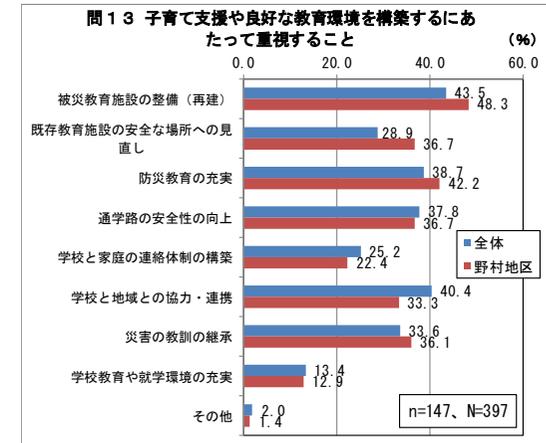
明浜町地区



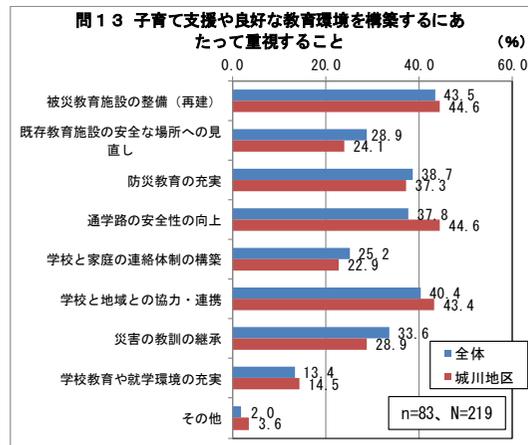
宇和町地区



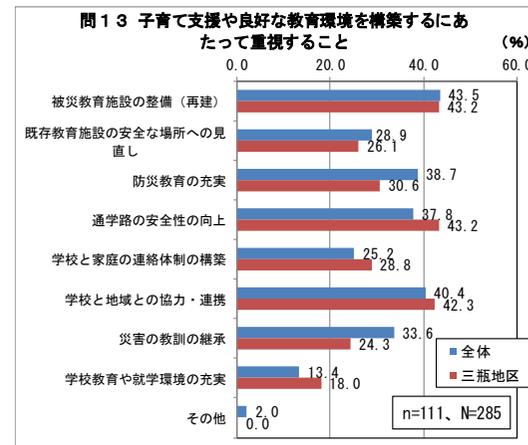
野村町地区



城川町地区



三瓶町地区



2 調査結果

■ 自由意見

問14 災害が起こって、危険を感じた体験や避難所で感じたこと、今後のまちづくりについてのご意見・ご要望などについて、自由にお聞かせください。【自由記入】

今回の災害の体験や今後のまちづくりについて、たくさんの貴重なご意見をいただきました。いただいたご意見を今後の復興まちづくり等に活かしていきます。

以下に、いただいた意見の抜粋を示します。

■ 安心で安全なまちの再建について

- ・野村ダムが安全としている放流量をはるかに超える放流を行うことがあることや、どれだけの放流量でどこまで浸水するのかを行政機関も住民も分かっていなかったはずである。今回のような犠牲者を出さないためにも、安全で安心できるまちづくりのためにも、放流量と浸水想定区域の関係を行政機関が把握しておくとともに、事前に流域関係者や一般市民に周知しておくべきである。今回のような犠牲者の発生や私有財産及び公有財産の損失を繰り返してはならない。（野村地区）
- ・7月の災害で町道からの土砂で水路がなくなり次の災害の心配をしております。1日も早い復旧をお願いいたします。（城川地区）
- ・今後も、豪雨が多発する可能性が高くなっています。河川や土砂災害等への対策をしっかりとってほしいと思います。また、南海トラフ地震に対する備えを早急をお願いします（三瓶地区）
- ・最近、山林の間伐が行われていますが、重機を使って作業道を作っているが、作り方が雑で昨年の大雨の時に作業道に水が集中して土砂災害が発生した事案がありました。間伐は必要な事業ですが集中豪雨による被害が発生しないように作業道に水路を義務付けるようにするとか何らかの対策をするように指導していただきたい。（宇和地区）
- ・一人ひとりが災害に対する意識を高めることが大事だと思います。（明浜地区）

2 調査結果

■ 自由意見

■ 日常の暮らしの再建について

- ・今回、被災された方への支援を手厚くしていただきたい。そのための出費なら抵抗はない。（宇和地区）
- ・作業場、倉庫、仮店舗等に支援金とか見舞金等を支払いしていただけないのは少々、不条理ではないかと思っております。（野村地区）
- ・私の実家は1階部分が水に浸かりました。母一人で本当に心細かったと思います。マニュアル通りの見舞金でどう対処すればよいのでしょうか。今回の水害でいかに行政や国はあてにならないかよくわかりました。マニュアル通り！前例がない！その前例をぶち破り前例がないけれども野村町は町民のために立ち上がる！勇気ある市長や所長はいないものか！（野村地区）
- ・自宅や自宅周辺には大きな被害はありませんでした。被災した方、施設のために何かお手伝いできること（軽作業）について情報が広報等であればと思います。（宇和地区）
- ・復興の作業を誰もが頑張っている中でも3日目となれば、疲労で顔も体も疲れピークに達していた。その時、地域の中高生のボランティアがビニール袋と飲み物を配給してくれた。その若いエネルギーな生徒さんたちの行動が元気あふれる姿だった。その若い子どもたちの心温まる瞬間でpowerup!できた。（宇和地区）

■ 産業・経済における生業（なりわい）の再建について

- ・農地の災害復旧について、水田に土砂が流入しており、高齢者にとって個人での復旧ができず困っています。今年の水稲栽培をどうしようか農協への苗の注文の関係もあり情報がほしい。（野村地区）
- ・三瓶地区と明浜地区においては、柑橘の園地が大きな被害をうけた。早期復旧に尽力してほしい。（三瓶地区）

2 調査結果

■ 自由意見

■ インフラ環境、まちなみの整備について

- ・ 海岸線の道路について、大変、道幅が狭く土砂崩れも頻繁に起こるため不便さと危険を感じている。原発も近く、地震が多発している昨今、唯一の避難道である海岸線の整備（トンネルなど）を急いでいただきたい。（三瓶地区）
- ・ ライフラインが断絶した数日間の対応が大変であった。日々の身の状況と生き残る為の方法を考え直す必要がある。のどもと過ぎれば少しずつ忘れる為に、早めの対策が必要である。（野村地区）

■ 子育てや教育環境の再建について

- ・ 学校教育において、西予市の地理的条件を勉強しておく。肱川水系をよく理解しておく（上流から野村ダムを通過して大洲・長浜へと流れていく事など）。ダムの役割の勉強をする。ダムの治水にも限界があることを市民がよく理解すること。そのうえで、ダムの職員には、下流域の住民の命と財産を守るという事を第一に考えて操作、運用をしていただきたい。（地区不明）
- ・ 野村町でこれからも子育てをしていきたいと考えています。しかし、元の環境へ戻る勇気もなく、不安が大きいです。金銭的な問題もありますが、一番は子どもたちに2度と同じような思いをさせたくない。その為にどこでどうやって生きていくべきなのか…。答えはなかなかみつきません。時間はかかると思いますが、家族皆で乗り越えていこうと思います。（野村地区）
- ・ 母親として、子どもを連れてどう行動すればよいか。情報提供（教育、冊子など、検診のときなど）があればいいなと思います。（明浜地区）

■ その他

- ・ いろいろな復興イベントが行われていますが、ただ「復興」といえば予算がおりるという事はやめていただきたい。本当に困っている人がたくさんいます。そんな人たちに予算がおりる手を差し伸べる西予市であってほしいと思います。（野村地区）
- ・ 中心部だけのまちづくりにならないようにお願いします。（城川地区）

西予市復興まちづくり計画 市民意向調査

このたびの「平成 30 年 7 月豪雨」でお亡くなりになられた方々に、心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

西予市は、平成 30 年 7 月豪雨により、これまでに経験のない甚大な被害を受けました。皆様の住まい、日常の暮らしを早急に取り戻すため、迅速な復旧作業を進めることと並行して、被災地の「復興・再生」のため、「西予市復興まちづくり計画」の策定に向けて作業を進めております。

計画の策定にあたっては、避難の状況やまちづくりに関するご意見を伺うアンケート調査、地区ごとに復興座談会等を実施し、市民の皆様のご意見を十分に踏まえた計画の策定を目指しております。

本調査は、これからの西予市のまちづくりに関して、平成 30 年 7 月豪雨により被害を受けた地域だけでなく、市全域を対象とした市民の皆様のご意向を把握し、復興まちづくりの実現に向けた基礎資料として、活用させていただきます。

お忙しいところ、誠に勝手なお願いで恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査票のご記入にあたって

- ・本調査は、西予市にお住まいの方の中から、無作為に 2,000 人を抽出させていただきました。
 - ・各設問に対して、ご家族でご相談いただき、ご回答ください。
 - ・選択式の設問では、当てはまると思われる選択肢の番号を○で囲んでください。
- 設問によって、○で囲む数が異なります。ご注意ください。

調査実施期間

- ・平成 31 年 2 月 1 8 日（月）まで、同封の返信用封筒にてご返送ください（切手不要）。

お問い合わせ先

- ・西予市 総務企画部 復興支援課

TEL : 0894-62-1455 E-mail : fukkoushien@city.seiyo.ehime.jp (担当 : 正司)

あなたの世帯や被災前のお住まい、現在のお住まいについてお尋ねします

問 1 世帯構成について教えてください [ひとつに○印]

1. 単身	2. 夫婦のみ	3. 夫婦と子ども
4. 夫婦と親	5. 3 世代以上	6. その他 ()

問 2 災害前のお住まいの地域について教えてください [ひとつに○印]

1. 明浜地区 (小学校区 :)	2. 宇和地区 (小学校区 :)
3. 野村地区 (小学校区 :)	4. 三瓶地区 (小学校区 :)
5. 城川地区 (小学校区 :)	6. その他 ()

問3 災害前のお住まいの形態について教えてください【ひとつに○印】

1. 持ち家(戸建、マンション等)	2. 借家(戸建)	3. 借家(共同住宅)
4. 社宅	5. 公営住宅	6. その他()

問4 お住まいの被災状況(り災証明の内容)について教えてください【ひとつに○印】

1. 全壊	2. 大規模半壊
3. 半壊	4. 一部損壊、床下浸水
5. 被害なし、り災証明を申請していない	6. その他()

問5 あなたの現在のお住まいについて教えてください【ひとつに○印】

1. 自宅	2. 建設型仮設住宅
3. 借上型仮設住宅(みなし仮設住宅)	4. 民間賃貸住宅(借上型仮設住宅を除く)
5. 親族・知人の家	6. その他()

問6 あなたはこれからもお住まいの地区に住み続けたいと思いますか。

【災害前】【ひとつに○印】

1. 今と同じ場所に住み続けたい	2. 同じ地区内の別の場所に住みたい
3. 西予市内の他の地区に住みたい (具体的な場所があれば:)	4. 西予市外の他市町村に住みたい (具体的な場所があれば:)

【災害後】【ひとつに○印】

1. 今と同じ場所に住み続けたい	2. 同じ地区内の別の場所に住みたい
3. 西予市内の他の地区に住みたい (具体的な場所があれば:)	4. 西予市外の他市町村に住みたい (具体的な場所があれば:)

西予市の好きなところについてお尋ねします

問7 お住まいの地区の魅力や誇りに思うところについて教えてください【3つまで○印】

1. 川や山が身近で、自然環境に恵まれている	2. 買い物や生活に便利
3. 交通の便がよく、通勤・通学に便利	4. 子育て・教育の環境がよい
5. 保健・医療・福祉が充実している	6. 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が多い
7. 伝統的な文化や祭りが多く残っている	8. 多種多様な農産物や水産物が生産されている
9. 自分に合う仕事・職場がある	10. 多彩で魅力ある観光・交流資源が豊富
11. 地域での人間関係がよい	12. その他()

安全で安心なまちづくりについてお尋ねします

「安全である」ということが暮らしの根底になればいけません。今後も今回のような豪雨災害の可能性は十分にありうることを受け止め、同じ被害を繰り返さないための河川整備や治山事業による安全対策、被災時における住民自治組織の役割の明確化などが重要です。

問8 安全で安心なまちづくりのために重視する施策について教えてください [3つまで○印]

1. 安全な場所への住居等の移転	2. 河川改修や堤防のかさ上げ等の河川対策
3. 野村ダムの洪水調整機能の強化	4. 身近な避難所・避難場所の整備
5. 治山事業や砂防事業の土砂災害対策	6. 植林や間伐など適切な森林の整備・保全
7. 南海トラフ地震に対する総合的な対策	8. 住宅や公共施設の耐震化
9. 自主防災組織や消防団などの防災体制の強化	10. 防災教育や防災訓練等の実施
11. 避難所等における防災備蓄品等の準備	12. 災害時における情報伝達手段の確保・整備
13. 地域での声掛け・助け合い	14. 地域の防災リーダーの育成
15. ハザードマップ等の防災に関する各種情報の提供	16. 市職員の防災対応能力の向上
17. その他 ()	

日常の暮らしについてお尋ねします

復興に向けて進んでいくためには、日常の暮らしを取り戻すことから始まります。生活再建のためには住宅、福祉、医療、教育、雇用、コミュニティなど総合的な支援が必要です。

問9 安定した日常の暮らしを確保・再建するにあたって重視することについて教えてください [3つまで○印]

1. 住まいの確保 (住宅再建や公営住宅の整備等)	2. 生活の再建 (経済的な支援等)
3. 地域のコミュニティの強化・再生	4. 保健・医療・福祉体制の確保
5. 心身の健康の維持・増進	6. 児童・生徒の心のケアの充実
7. 社会教育・生涯学習の充実	8. 市民への行政情報の伝達強化
9. 行政との協働	10. その他 ()

産業・経済における生業(なりわい)についてお尋ねします

仕事があることは生活の基盤でもあり、地域の活力にもつながります。大きな被害を受けた商工業、みかん樹園地、農業施設、林業など、あらゆる分野における産業の復興に向けて支援体制を整え、地域経済の活力を早期に取り戻すことが重要です。

問10 産業・経済を再建するにあたって重視することについて教えてください [3つまで○印]

1. 農業用地や農業施設の復旧支援	2. 工場や生産設備の復旧支援
3. 商店や事務所の復旧・活性化支援	4. 農業の振興 (特産品のPR、農産品の購買促進、収益性向上等)
5. 工業の振興 (高付加価値化等)	6. 観光業の振興 (観光資源の復旧、整備等)
7. 中小企業等の支援策の充実	8. 農産物の生産から流通・販売までの一連の事業化の推進
9. 企業誘致等による就業機会の確保	10. 起業に向けた各種支援の充実
11. 人材の育成・確保	12. その他 ()

インフラ環境、まちなみの整備についてお尋ねします

安心して暮らしていくための基盤として、土砂の撤去、家屋の解体など被災した地域環境を早期に整備することと、上下水道の復旧や市道・農道の復旧整備といったインフラ環境が整うことが重要です。また、災害公営住宅等の整備といった住環境を整備することが大切です。

問1 1 まちなみを整備するにあたって重視することについて教えてください [3つまで○印]

1. 災害に強い交通網の形成（道路の再整備等）	2. 道路の早期復旧
3. 身近な道路の復旧・改善	4. 河川の早期復旧
5. 新たな住宅地の整備	6. 公共施設の安全な場所への見直し
7. 公共施設の耐震化	8. 住宅街への公園の整備
9. 防災拠点の整備（大きな公園等）	10. 山間部など危険な地域の改善（急傾斜地の対策）
11. 自然エネルギーの活用	12. その他（ ）

問1 2 復興に向けて早急に整備・強化すべき基盤施設について教えてください [2つまで○印]

1. 河川堤防・護岸	2. 幹線道路・橋梁
3. 公共交通	4. 農業施設（用水、水路等）
5. 上下水道	6. その他（ ）

子育てや教育環境についてお尋ねします

元をたどればすべての根源は教育にあると言えます。次の時代を担う子供たちに、今回の災害を教訓として、経験を踏まえた防災教育を推進することが大切です。また、野村保育所、明浜中学校、社会体育施設、公民館などの公共施設も甚大な被害を受けており、今後の子育てや学校・社会教育の在り方を踏まえ、早急な施設整備を推進することが重要です。

問1 3 子育て支援や良好な教育環境を構築するにあたって重視することについて教えてください [3つまで○印]

1. 被災教育施設の整備（再建）	2. 既存教育施設の安全な場所への見直し
3. 防災教育の充実	4. 通学路の安全性の向上
5. 学校と家庭の連絡体制の構築	6. 学校と地域との協力・連携
7. 災害の教訓の継承	8. 学校教育や就学環境の充実
9. その他（ ）	

